

平成26年度 子育てサポーター養成講座受講生募集

地域ぐるみの子育て支援活動に、自らの子育て体験を生かしたいという意志を持つ方が、実践活動(子育てサポーター活動や子育てサロンスタッフなど)を推進するための知識と技量を高める研修講座です。また、行田市ファミリー・サポート・センターの会員としての資質を磨く機会となっていますので、ぜひご応募ください。

日時	場所	内容	講師
6月3日(火) 午前10時～11時45分	中央公民館第1学習室 〔みらい〕内)	・開講式 ・開講記念講演「子育て環境の今日的な社会事情」	野口晴久さん (埼玉新聞社元編集局長)
6月10日(火) 午前10時～11時30分		・講義「法律から見た子どもの人権と家族関係」	町田知啓さん (弁護士)
6月17日(火) 午前10時～11時30分		・講義、実技「乳幼児と親にととの音楽の効用」	志村洋子さん (埼玉大学教育学部教授)
6月24日(火) 午前10時～11時30分	〔みらい〕文化ホール	・公開講座「人形劇を楽しもう」～乳幼児とその保護者・地域の方々の皆さんと一緒に楽しみ合う～	人形劇団 〔タックル・ベアー〕
7月1日(火) 午前10時～11時30分	中央公民館第1学習室 〔みらい〕内)	・講義、実技「子どもの気持ちになって、紙粘土で表現してみよう」	吉田初代さん (創造作家)
7月8日(火) 午前10時～11時30分		・講義、実技「安心・安全のための子どもの救急」	消防署職員
7月10日(木) 午前10時～正午		・講義、実技「子どもの成長～健診から気づくこと～」 ・交流会 ・閉講式(修了証授与)	保健センター職員

- ▶ **対象** 子育てサポーターまたは子育てサロンスタッフとしての基礎知識を学び、広く地域社会に貢献したいと願う、子ども好きで健康な方
- ▶ **募集人数** 100人(平成25年度以前の修了者の再受講も可、年齢・性別は問いません)
- ▶ **受講料** 無料(7月1日の講座は材料費300円の実費負担あり)
- ▶ **主催** 行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会、NPO法人子育てネット行田
- ▶ **共催** 埼玉県家庭教育振興協議会
- ▶ **申し込み** ひとつくり支援課、行田市社会福祉協議会、NPO法人子育てネット行田事務局で配布している申込書に必要事項を記入の上、5月29

日(必着)までに郵送またはFAXで提出してください。

- ・ひとつくり支援課【郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20【FAX】556-0770
 - ・行田市社会福祉協議会【郵送】〒361-0002 行田市酒巻1737-1 総合福祉会館「やすらぎの里」内【FAX】557-5411
 - ・NPO法人子育てネット行田事務局【郵送】〒361-0032 行田市佐間1-13-1【FAX】556-7765
- ▶ **問い合わせ** 同課 ☎556-8319、同協議会 ☎557-5400、同事務局 ☎556-7765



- ▼ **日時** 5月31日～6月21日の毎週土曜日(全4回) 午前9時30分～11時
- ▼ **場所** 総合福祉会館「やすらぎの里」、利根川堤防および周辺の農道など
- ▼ **内容** ノルディックウォーキングで体も心もリフレッシュする
- ▼ **講師** 日本ノルディックウォーキング協会インストラクター
- ▼ **対象** 市内在住でおおむね60歳以上の方(30分以上連続した歩行ができること) ※医師より運動が制限されている場合は事前に主治医に確認してください。
- ▼ **定員** 20人(先着順)
- ▼ **参加費** 300円(保険料、資料代など) ※ウォーキングポールレンタル料1回200円
- ▼ **持ち物** ウォーキングシューズ、タオル、運動しやすい服装、着替え、飲み物、ウォーキングポール(お持ちの方)
- ▼ **申し込み・問い合わせ** 5月20日(火)午前9時から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

ノルディックウォーキング教室

全国藩校サミット行田大会

7月5日(土)、産業文化会館で開催される全国藩校サミット行田大会の概要をお知らせします。大会では「藩校教育の理念を今に」をテーマに講演会、参加藩紹介、素読発表が行われます。

【第1部】

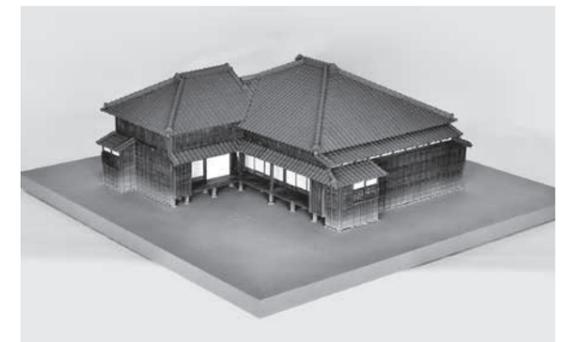
- ▶ **開催時間** 午後0時30分～1時30分
- ▶ **内容** 藩校サミット研修会(講演会) テーマ「国語教育の柱－漢字・古典・短文作り」
- ▶ **講師** 加地伸行さん(立命館大学シニアフェロー・大阪大学名誉教授)
- ▶ **入場料** 無料(未就学児の入場は不可)

▶ **入場料** 無料

▶ **問い合わせ** 第12回全国藩校サミット行田大会実行委員会(ひとつくり支援課内) ☎556-8319

【第2部】

- ▶ **開催時間** 午後2時～5時30分
- ▶ **内容** 大会式典および記念講演
 - ・参加藩紹介
 - ・神田紅さん(講談師)による記念講演「江戸後期の忍藩と明治への移行」
 - ・素読発表



忍藩校進脩館講堂模型

藩校教育の発展と教員たち

① 新たな学校の設置

天保7年(1836)に開設された忍藩校進脩館では、藩士の子弟の教育が行われ、幕末の動乱期に藩を支える人材が育成されました。やがて、江戸幕府が倒れ明治新政府が成立すると忍藩でも新たな時代に対応するため、明治元年(1868)9月に従来の家老を改め軍務・会計・刑法の惣奉行を設置するなど、藩の職制を一新しました。その中に教育関係の役職として洋学教官・学監・学問所下役が新たに設置されました。これに併せて、培根堂・国学館・洋学館の三校が新設されたのです。



吉田庸徳肖像写真 慶応4年撮影(行田市郷土博物館所蔵)

培根堂は忍城成田門外の東にあった建物二棟を使用しました。初学者的教育を目的として儒書の素読や算学、手習いなど

どを教えました。授業は午前9時から午後3時ごろまでで、生徒は控え室で手習いの稽古をするともに順次教室へ呼ばれて素読や算術などを教わりました。国学館は培根堂の建物一棟を使用して国学を教えました。洋学館は沼橋曲輪内に建設されました。

② 藩校の教員たち

藩校で教えた教員には芳川波山の他にもさまざまな分野の人材がいました。波山の娘婿となった芳川襄斎は忍藩儒となり、幕末まで進脩館で教えました。波山の末子である芳川春濤は江戸で蘭学を学んだ後、忍に戻り職制改革の際に洋学教官を命じられ、洋学館開設に力を発揮しました。

数学では、培根堂の教員となり「西洋度量早見」「洋算早学」などの算術書を執筆した吉田庸徳がいます。青木輔清は洋学館の英語教員となり、明治15年ごろまでに「横文字独文学」など数十冊の著書を執筆しました。この二人は、明治初期の忍藩出身の知識人として、注目される人物です。